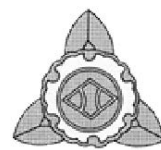


小須戸小学校だより

NO.5

令和4年 12月15日(木) 発行



学びのエキスパートを育てる

校長 河野 健一

人は誰でも得手不得手があります。しかし、人によってそれは異なります。私が苦手なこともほかの誰かは得意だったり、私が得意なこともほかの誰かは不得意だったりします。みんなが同じと言うことはありません。だからこそ互いに助け合うことができるのだと思います。これからの時代は自分の得意を生かして、いろいろな人と助け合いながら生活していけるようにするのが大切だと思います。

そのためには、どのような力を身に付けなければならないでしょうか。まずは、考え方の転換だと思います。「間違いを恐れてそこから先に進めない」「失敗するのが嫌だからやらない」「みんなと同じでないからいけない」「今までと違うからそれはおかしい」と言うことではなく、「間違いや失敗から学ぶことができる」「みんなと違うからいろいろ学ぶことがある」「今までと違うから新しい発見がある」という考え方にしていく必要があります。そうすることで、新たな気づきや考えが生まれます。

小須戸小学校では科学的根拠に基づくUDLの授業づくりを行っています。多様な子どもの学びに合わせて学び方を柔軟にできるようにと研究を進めています。今までのように全員が椅子に座って同じように授業をするのではなく、自分に適した学び方、学びやすい環境で同じゴールに向かって学びを進られる「学びのエキスパート」を目指しています。もし、うまくいかなかったときは、どこがよくなかったのかを振り返り、修正していく。例えば、いつも同じやり方ではなく、その時々にあったやり方ができる。自分の学びを社会に生かすことができる。答えのない問題に仲間と協力しながら最適解を見つけることができる。そんな子どもたちになってほしいと願っています。

11月28日にUDLの研究発表会をZOOMで行いました。発表会には日本全国からたくさんの参加があり、UDLへの関心の高さを感じました。実際の授業を見てもらう機会も設定し、子どもたちの学びの姿で、UDLについてさらに理解を深めていく予定です。UDLの研究はまだ始まったばかりです。小須戸小学校はこれからもUDLの実践を続け、職員も子どもとともに「学びのエキスパート」を目指します。